

口腔アレルギー症候群 (OAS)

果物や野菜などを食べることにより、それが触れた唇や舌、喉などの粘膜にアレルギー症状が起こるものを総称して「**口腔アレルギー症候群(OAS: Oral allergy syndrome)**」といいます。

口腔アレルギー症候群(OAS)は、年長児や大人では花粉症を起こした後に起こす場合が多いといわれ、年少児では同じ果物を多食することでアレルギーを起こす可能性があると考えられています。こうした現象は、花粉と果物や野菜に含まれるアレルゲンが類似している(**交差抗原性**)ため、花粉症の人が**口腔アレルギー症候群**を引き起こしやすいといわれています。症状は、原因となる食物を食べて約15分以内にそれが触れた唇や舌、喉などの粘膜に刺激感、かゆみ、ひりひり感、突っ張り感など口腔内に限局して現れることが多いのですが、多量に摂取すれば眼や鼻に花粉症の症状が出たり、じんましんや血管浮腫、腹痛、嘔吐、下痢、喉頭閉塞感、気管支喘息の発作を起したりなど全身症状を伴うこともあります。また、まれにアナフィラキシーショックに至ることもあります。他にも果物のアレルギーがある場合、※)ラテックスにもアレルギーを起こしている場合があることも知られています(ラテックス-フルーツ症候群)。

口腔アレルギーの症状が現れたら、まず原因と考えられる食物の摂取を避けることが最も重要です。

《 原因となる主食材と花粉の関係 》

シラカバ花粉	リンゴ、モモ、サクランボ、ナシ、スモモ、アンズ、イチゴ、ウメ、ビワ(以上バラ科果物)、ヘーゼルナッツ、ピーナッツ、ブラジルナッツ、ココナッツ、アーモンド、クルミ、ニンジン、セロリ、馬鈴薯、キウイ
スギ・ヒノキ花粉	トマト
カモガヤ花粉	トマト、メロン、スイカ、馬鈴薯、オレンジ、セロリ、バナナ、小麦、とうもろこし
フタクサ花粉	メロン、スイカ、ズッキーニ、キュウリ、バナナ
ヨモギ花粉	ニンジン、セロリ、パセリ、リンゴ、ピーナッツ、キウイ
ラテックスアレルギー	バナナ、アボガド、キウイ、クリ、マンゴー、クルミ、トマト



※)ラテックス: ゴム原料であるヘベア樹の樹液に含まれる蛋白質。医療用手袋の主原料となる天然ゴムに含まれているため、ラテックスアレルギーは医療従事者に多い。



「あなたは大丈夫?花粉症!」の巻

花粉症の約70%はスギ花粉症だといわれ、今年のスギ花粉飛散総数は、関西では昨年より1.5倍前後、やや多いと予測されています。主として、次のような症状が続くときには花粉症の可能性があります。

水様性鼻汁 (水様鼻漏)

鼻汁は吸気をろ過、加湿する上で重要な役割を果たしていますが、花粉症ではその分泌が亢進し、鼻からたれたり、のどに流れたりします(後鼻漏)。鼻水は水様性で、いくらかんでも出てきます。風邪でも初期は透明な鼻汁が出ることがありますが、数日で粘膿性になり、1~2週間て軽快します。

鼻閉 (鼻づまり)

鼻閉は肥満細胞から分泌された化学伝達物質により生じる鼻粘膜腫脹や血流悪化によって起こります。重症化すると、両方の鼻が完全につまり、口呼吸になります。

くしゃみ

くしゃみは外から入った異物を外に出そうとする防御反射です。花粉症では、連続して何度も起こるのが特徴です。

目の症状

激しいかゆみ、結膜充血、涙目など。

ちょっとトピックス!

餅の窒息事故が多発する年末年始。東京消防庁によると、今年正月三が日で餅をのどに詰まらせて救急搬送されたのは22人でした。(同庁館内の件数)



お口の雑学クイズはお休みです。